

2023年日本平和大会in鹿児島ニュースno.10



発行:2023年日本平和大会実行委員会(事務局:日本平和委員会内) 2023/10/19
Tel 03(3451)6377 Fax 03(3451)6277 Email:heiwataikai@j-peace.org

大会まであと3週間

最後までリアル参加、オンライン視聴の輪を広げ
今年の大会の意義にふさわしい規模で成功させよう!

事務局団体が訴えを発信(別紙)

今年の大会は、岸田大軍拡・戦争国家づくりが2年目に入ろうとするなか、九州・沖縄、全国の軍事要塞化を許していいのか、総選挙で審判を下す力を広げる日本平和大会を何としても大きく成功させることが求められています。しかし、リアル参加の到達はまだ目標の6割程度。「全国的には、九州を除く各都道府県であと100人、地元・鹿児島を除く九州であと100人の規模でリアル参加者を増やす」(訴え)ことが求められています。

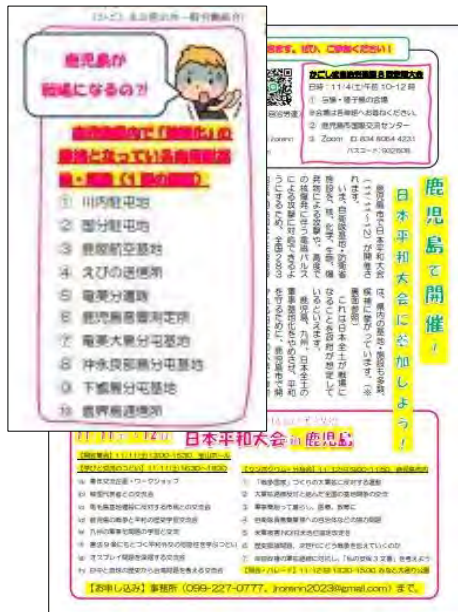
- ★中央団体はそれぞれ、各都道府県から1人2人と参加を広げよう
- ★都道府県(九州・沖縄を除く)は、19年沖縄大会に匹敵する参加を

視聴会への参加を呼びかける東京・中央区のチラシ



鹿児島実行委

要員、参加者組織の取り組みを交流



鹿児島県実行委員会は18日夜、第5回実行委員会を開催。要員の確認状況と参加者組織の取り組みについて交流し、推進の意思統一を行いました。自治労連は、県本部ニュース10月号の1面に大会の概要を載せるとともに、2面に「鹿児島が戦場になるの?!」と、県下各地の基地の強靱化リストを載せ、大会への参加を呼びかけています(左)。民医連は要員を含めて目標70人。50人の参加が見えてきています。県労連は26日の幹事会に向け確認を進めています。新婦人では、会員さんから参加申込FAXが届いてきています。実行委員会事務局は、鹿児島9条の会へもよびかけ、同会は約700人に大会の案内を送りました。また、県内約40の9条の会にも案内を届けました。

27日が要員登録の節目。それをふまえて30日に事務局会議、そして11月1日に第6回実行委を開催し、実務、要員、参加組織それぞれの面で最後の意思統一をはかっていきます。

■動く分科会、オプション(馬毛島交流)間もなく切となります。

それぞれ、バスの定員、フェリーの予約数いっぱいとなります。まだのところはお急ぎ下さい。